

# 中勢道路 調査ニュース No.52 2009.11

Chusei News Letter No.52, Archaeological Properties Center of Mie Prefecture

三重県埋蔵文化財センター 中勢道路埋蔵文化財発掘調査整理所  
〒515-0325 多気郡明和町竹川503 〒515-2316 松阪市嬉野川北町471  
TEL 0596 (52) 1732 FAX 0596 (52) 7035 TEL 0598 (42) 7960 FAX 0598 (42) 7961  
E-mail: maibun@pref.mie.jp  
http://www.pref.mie.jp/MAIBUN/HP/

あいかわせいほう

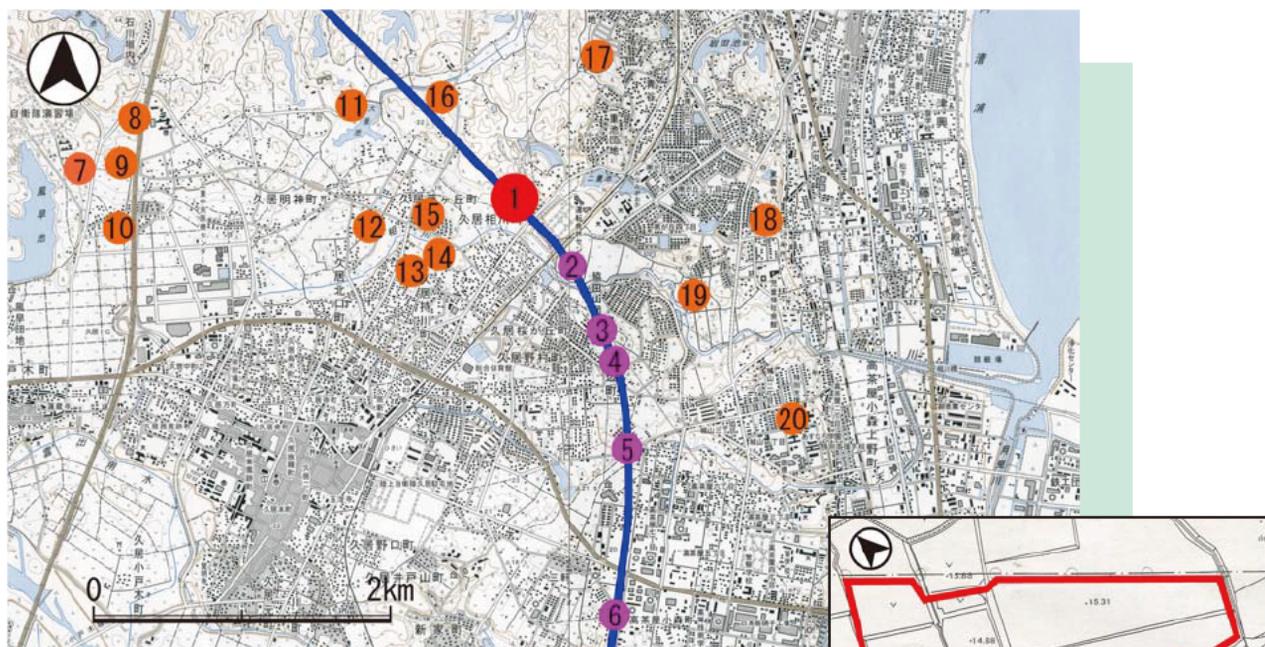
## 相川西方遺跡 第2次調査

調査面積：3,300㎡

調査期間：平成21年5月11日～平成21年12月21日(予定)

調査担当：三重県埋蔵文化財センター

調査委託：国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所



1相川西方遺跡 2丸地遺跡 3城ノ越遺跡 4東山神遺跡 5本宮遺跡 6向山遺跡  
7狐塚古窯跡 8北原古窯跡 9北池原遺跡 10狐塚遺跡 11大釜池古墳 12駒走り遺跡  
13一丁田遺跡 14持川遺跡 15久居古窯跡群 16藤谷古窯跡群 17半田横穴群  
18池の谷古墳 19法ヶ広窯跡 20高茶屋大垣内遺跡

遺跡位置図 1:50,000

相川西方遺跡調査区位置図 1:2,000

### はじめに

一般国道23号中勢道路の建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査は昭和63年度からはじまり、近年は、主に旧久居市北部の遺跡の調査を進めています。本年度は相川西方遺跡（津市久居相川町）の第2次調査や本宮遺跡（津市久居野村町）の第1次調査などを行っています。

ここでは、相川西方遺跡の第2次調査について、これまでの調査の成果を紹介します。

# たくさんの遺構が見つかりました！

相川西方遺跡は二級河川相川の北岸にある浅い谷地形に立地しています。調査の結果、弥生時代の終わり頃（約1,700年前）の遺構が見つかりました。遺構のほとんどが土坑（穴）で、225基以上も見つかっています。たてあなじゅうきよ 堅穴住居のような建物の跡は見つかりません。形は楕円形のものから不整形のものまで様々で、大きさも場所によって大きく差があります。このような土坑群はお墓や貯蔵用の穴などの可能性も考えられますが、粘土が取れる部分に遺構が多いこと、不整形の土坑が多いことなどから、粘土採掘坑の可能性が最も高いと考えています。相川西方遺跡の周辺に暮らしていた弥生時代の人々は、ここでとった粘土を使って土器作りをしていたのでしょうか。



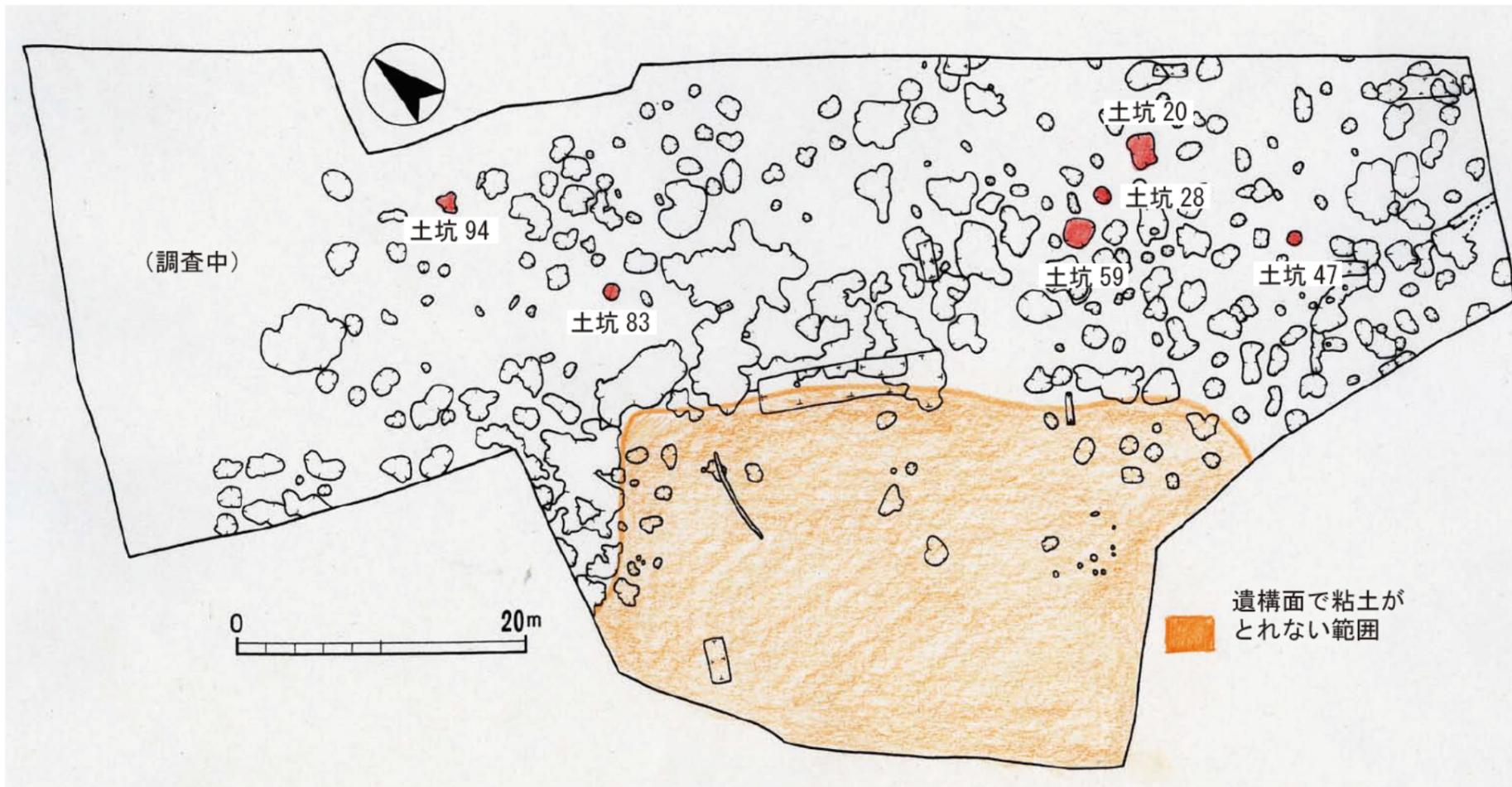
土坑28  
土器（左）と籠製品（右）が出土した様子



土坑20  
土器が出土した様子



土坑94  
土器が出土した様子



遺構平面図 1:400



土坑47  
籠製品が出土した様子  
写真中央に編み目模様が見えます



土坑83  
土器の出土と断面の様子



土坑59の断面の様子



たくさんの土坑



作業風景

# こんな遺物が出土しました！



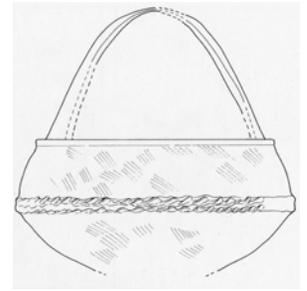
せんとうき  
尖頭器（槍先に付けられた石器）

縄文時代初め頃（約12,000年前）  
の石器で、チャート製の有茎尖頭器  
です。



てあぶりがたどき  
手焙形土器

弥生時代終わり頃（約1,700年前）の土器で、本来は上  
に覆いがある変わった形の土器（右図参照）です。用途  
は不明とされている土器です。



手焙形土器  
（村竹コノ遺跡出土）



近江地方から運ばれてきた甕かめ

弥生時代終わり頃の甕で、形や使われている  
土をみると近江地方（今の滋賀県）から運ばれ  
てきた甕と考えられます。外面には煤が付着し  
煮炊きに何度も使われていたようです。



下半分だけの壺つぼ（弥生時代終わり頃）

出土した壺の大半は下半分しか残っていま  
せん。粘土をとるためのバケツがわりにした  
のでしょうか。



かごせいひん  
籠製品

土坑 2 8 出土



土坑 4 7 出土

現在 2 点の籠製品が土坑（穴）から出土しています。籠製品のような植物質の遺物は、非常に腐りやすいため保存状態の悪いものがほとんどですが、当遺跡出土の籠製品は保存状態がよく、非常に精巧につくられています。2 点とも角底の籠製品で、4 通りの編み方が確認できます。